

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和四年 三月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー ②②】

《滝沢馬琴 その2》 琴弾山の山頂に「弓張月」の石碑があります。由来となる『椿説(ちんせつ) 弓張月』の作者滝沢馬琴(ペンネーム 曲亭馬琴)は一七六七年に江戸



深川に生まれました。馬琴は下級武士の出であり、へ刀を捨てて医者になろうとして果たさず、仏門に入ろうとしてこれも果たさず、世にすねた生活の果てに文筆の道に進んだ」とされてい

ます。馬琴の父親は旗本松平家の用人で五男の馬琴も厳格な教育を受けていましたが九歳の時、父を亡くし母親も病に倒れ、貧困により一家離散となります。けれども博学多識な馬琴は二十五歳の時より奮起し四十一歳で『椿説弓張月』四十八歳で『南総里見八犬伝』



を刊行し「天下に誰知らぬ者もない馬琴」となり五十二歳で滝沢家の歴史を『吾仏乃記』(あがほとけのき)に記述しています。その後、病や失明など不運と戦いながら書き続け八十二歳で亡くなりました。

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は 3月7日です。

午前八時～九時 (雨天：3月14日)

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ 080-3211-11962

【琴弾公園クイズ ③⑤】

琴弾山のドライブウェイに沿っての溪谷(けいこ)は昔琴弾八幡宮の祭神を船とともに引き上げたという言い伝えがあり「○○の溪(たに)」と呼ばれていました。次のどれ？

- ① 松の溪
- ② 竹の溪
- ③ 梅の溪

寛永

朗報です。観音寺市のランドマークといえば『銭形砂絵』と『高燈籠』。琴弾八幡宮最後の階段の南側に昭和二十八年財田川の港から奉納されたのが現在の高燈籠です。戦前の図絵には木製の高燈籠が描かれています。昔は夜の港に出入りする船にとって、高燈籠の灯りが観音寺のまちを示す言わば灯台として大

事なものだったのですが、斜面に木が生い茂り、今では下からは全く見えないう状況になっています。この歴史的価値の高い高燈籠の前の木々の伐採を四年前に香川県にお願ひしていましたが、昨年末ようやく文化庁の許可がおり三月に伐採が始まることになりました。多く観光客に喜ばれること期待しています。(K・M)



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力が高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。

